



相模原市消防局クレド

私たち消防職員は、寝食を共にする中で、家族以上に長く、濃い時間を共に過ごし、時には命の駆け引きをする特殊な環境で職務に当たっています。このため、階級による上下関係を前提とした厳しい指導が当たり前のこととされてきました。しかし、時代の潮流が変化するなか、私たちの意識も社会の変化に順応することが求められています。新たな時代の波に乗り遅れないためにも、今までの考え方自体をアップデートしていかなければなりません。

一方で、これまでの厳しかったと言われる時代においても、「相手のために」「相手のことを思って」「相手の立場に立って」行動していたら、おのずとその想いは相手に伝わり、信頼関係が構築されたはずです。いつの時代においても、その「愛」と「敬意」を持ち、そして「礼節」が伴っていればハラスメントは起こらないのではないかと考えます。これらが欠如している人や場面において、他の要因が複雑に関連することでハラスメントが起きるのではないのでしょうか。

また、私たちは同じ使命を持った「同志」であることも重要であると考えます。志が同じであれば理解し合えると思いますが、そもそも志の捉え方や、個々の価値観が大きく異なっていると分かり合えない場面が生じてきます。まずは、そういった価値観の違いやそれぞれの考え方があるという事実を知ることから始め、理解し、尊重できるよう努力することが必要です。

このように、職員一人ひとりがハラスメント根絶に向け、どうしたら良いのかを考えることが大切であり、風通しの良い職場を作るための職員の行動指針であるクレドには、ハラスメントの芽を摘む力があると信じます。日々の振る舞いを見つめ直し、ハラスメントのない風通しの良い組織にするため、このクレドを作成しました。

令和6年3月31日

相模原市消防局は、風通しの良い職場づくりのためこのクレドを実行します。

その言葉 発言前にトリアージ

相手への呼び方は敬意をもって
嬉しい言葉を贈ろう
ウェルカムを届けよう
思いやりを態度で示そう

気遣いのあるワークプランニング

分担と優先順位ではかどる仕事
次どうぞ、みんなで実行 心遣い
災害に 備えた仮眠で準備万端
定時後は 自分と時間を大切に

アップデート 今日から明日へ

変化を楽しむ
「なんとなく」から善し悪しを選別しよう
現状からのプラス1
導こう、理由を添えて

エール その一生懸命を応援したい

謙虚な気持ちと素直な心を持ち続けよう
いつもご機嫌な振る舞い
目配り、気配り、心配り

十人十色もいいね！で作るワンチーム

得意分野のおすそわけ
価値観を尊重しよう
個性を活かしたチームづくり

このクレドを通して、それぞれの個性を理解し、尊重し合いながら
十分に能力を発揮し、市民の命と仲間を守ります。

○その言葉 発言前にトリアージ

- ・相手への呼び方は敬意をもって
- ・嬉しい言葉を贈ろう
- ・ウェルカムを届けよう
- ・思いやりを態度で示そう

あなたの発する言葉次第で、隣にいる仲間が喜んだり、悲しんだりする。相手を想った言葉の積み重ねが関係性を温めていく。選ぶ言葉・発する言葉の大切さを深く理解し、発言しよう。“あいての気持ちに愛の手（愛拶・愛槌・愛言葉）”を差し伸べよう。

○気遣いのあるワークプランニング

- ・分担と優先順位ではかどる仕事
- ・次どうぞ、みんなで実行 心遣い
- ・災害に 備えた仮眠で準備万端
- ・定時後は 自分と時間を大切に

仕事は気遣いとともに、計画的に遂行しよう。特定の職員に偏らせず、適切に分担・協力することで仕事が効率的になる。また、共同生活を送るためには価値観や習慣の違いに歩み寄った気遣いが欠かせない。「働く・休む」のメリハリをつけることで心身の負担を減らし、コンディションの良い状態で災害に備えよう。

○アップデート 今日から明日へ

- ・変化を楽しむ
- ・「なんとなく」から善し悪しを選別しよう
- ・現状からのプラス1
- ・導こう、理由を添えて

現状に満足するのではなく、時代や状況、世代の流れを気に留めて、変化を楽しみながら受け入れよう。なんとなく続けてきた習慣なども立ち止まって振り返る機会を設け、改善に取り組もう。相手に何かを伝えるときは結論だけでなく、理由を説明することで理解を促そう。

○エール その一生懸命を応援したい

- ・謙虚な気持ちと素直な心を持ち続けよう
- ・いつもご機嫌な振る舞い
- ・目配り、気配り、心配り

仲間から応援される職員になろう。誰かから教わる時は、教えてくれる人の経験やその時間を頂いていることに感謝の気持ちを持とう。あなたのいつもご機嫌な振る舞いが、周りを明るく照らし、仲間を元気付ける。だからこそ、仲間が困っていたり、苦戦しているのなら、温かい気持ちを持ちながら相手の置かれた状況や気持ちを理解し、手を差し伸べてフォローしよう。

○十人十色もいいね！で作るワンチーム

- ・得意分野のおすそわけ
- ・価値観を尊重しよう
- ・個性を活かしたチームづくり

年齢や階級、性別、経験、好きなもの、苦手なものがみんな違ってみんな良い。得意なものはみんなで分かち合う。苦手なものは助け合う。違いを認め合い、個性を尊重し、それぞれの強みを活かす。そんなバラエティに富んだ一人ひとりの思いが束になり、災害から守る1本の強固なロープを作り出す。そこには、フォローし合える仲間がいる。

クレド (Credo) とは、ラテン語で「志」「約束」「信条」を意味する言葉で、「同じ組織で働く職員全員が心掛けるべき信条や行動指針を明文化したもの」を指します。風通しの良い職場のために必要な心構えや行動を明文化することで、組織の構成員が同じ方向性を目指しやすくなるという効果があります。

相模原市消防局のクレドの強みは、何よりも「現場から生まれた」という点です。作業部会、職員のヒアリングや投票によって決まったこの5つのクレドは、職員が描く理想の職場環境が具現化されたものです。そしてその理想の職場は、職員一人一人がクレドに沿って行動することによって実現することができます。まずはぜひ、一步を踏み出してみてください。

津野香奈美 (相模原市参与)